

あいち農産物生産流通レポート

平成27年11月号

情報サロン		
・カットやスライス用に向き、受粉作業が不要な単為結果性を持つ トマト新品種「サンドパル(試交10-2)」	(農業総合試験場)	1
地域トピックス		
・品質向上へ！かきの高精度選果機が稼働開始しました	(新城設楽農林水産事務所)	2
東日本情報		
・国際フラワーEXPOで花業界の需要を喚起	(東京事務所)	3
西日本情報		
・秋の実りを味わう「親子料理教室」食について楽しく学ぶ「食育の広場」 ～「第32回全国都市緑化あいちフェア」で食育推進イベント開催～	(食育推進課)	5
フラワーページ		
・あいち花の交流ひろばを開催しました！	(園芸農産課)	6
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		8
・名古屋・東京市場における青果物の11月の見通し		9
花き		
・切花・鉢花の11月の見通し(県内市場)		21
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2015年8月)		25
関連指数		26

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

カットやスライス用に向き、受粉作業が不要な単為結果性を持つ
トマト新品種「サンドパル（試交 10-2）」

農業総合試験場

1 育成の背景

近年、生食用トマトの消費場面では、カットやスライスして使う機会が多くなっています。しかし、現在流通しているトマトはカットするとゼリー部が落ちてしまいサラダの見栄えが悪くなったり、スライスしてパンに挟むと液だれしてパン生地が湿ったりと、必ずしもカットやスライス向きとは言えません。一方、トマトの栽培場面では、着果を安定させるためにホルモン処理やマルハナバチによる受粉が行われていますが、これらの作業には労力やコストがかかり、生産者からは単為結果性品種に期待する声が大きくなっています。単為結果性とは、受粉・受精が無くても果実が大きくなる性質ですが、トマトでは単為結果性品種はまだ少ないのが現状です。

そこで、愛知県農業総合試験場では、このような消費者と生産者の双方のニーズに応えた単為結果性トマト新品種「サンドパル（系統名：試交 10-2）」を育成し、2014年3月に種苗法に基づく品種登録出願を行いました（2014年8月出願公表）。

「サンドパル」は、愛知県が取得した登録商標（第 5724880 号）です。

2 品種の特性

「サンドパル」は果実重 200g 程度の大玉品種で、果肉の割合が多いので、ゼリー部が落ちにくく、液だれしにくい特性を持っています。そのため、サラダやサンドイッチなどのカットやスライスする用途に向いています。糖度（Brix）は一般的な大玉品種より高めですが、丸かじりするとややあっさりした印象との声もあります。また、「サンドパル」は単為結果性を持っているため、ホルモン処理やマルハナバチによる受粉を行わなくても着果が安定しており、栽培の省力・低コスト化が図れます。完熟したときの果色は朱色に近い赤色で、国内で生産されている一般的な大玉トマトの桃色とは外観の印象が異なり、差別化も可能です。果形は豊円で、空洞果の発生は少なく、花落ち部は小さめです。節間長は「桃太郎ヨーク」より長めで、葉は下垂しますがコンパクトなため採光性は比較的よい草姿です。トマトモザイクウイルス（Tm-2^o型）、萎ちよう病（レース 1、レース 2）に抵抗性を示します。

3 栽培上の留意点

「サンドパル」は平坦地の促成栽培と半促成栽培、中山間地の夏秋栽培に適しています。初期の生育はややおとなしく、単為結果性の発現によって早めに着果するため、第 1 花房開花前のやや若苗を定植します。花数の多い花房は摘果を行い、第 3 花房開花以降は、追肥を適宜実施して草勢の維持に努めます。「サンドパル」の種子は、2015年7月から愛知県種苗協同組合（連絡先：松永種苗 電話 0587-54-5151）が販売しています。



「サンドパル」の果実と横断面

新城設楽農林水産事務所

品質向上へ！かきの高精度選果機が稼働開始しました

新城市のかきは約 30ha 栽培されています。愛知東農業協同組合は、平成 26 年度強い農業づくり交付金を活用し、かきの選果機を強化しました。この選果機は平成 27 年 2 月に導入完了し、今シーズンから本格稼働しています。

・導入経緯と特徴

導入前まで利用していた旧選果機は、導入から 16 年が経過し、選果精度が低く、品質の良いかきが正しく判別されないことがあり、秀品率が実際より低く留まっていることが問題となっていました。選果精度を高め、かきの品質を正確に判別できれば、消費者へのニーズに応えることができ、生産者の所得向上が期待できます。



そうした経緯から、この度、高精度の選果機を導入しました。最新式の外観観測カメラを搭載し、かき 1 玉に対して 5 台の観測カメラが、多面的に傷や色目を見逃さずに判別します。また、照明の光源をハロゲンランプから LED 化し、光のムラやハレーション（強い光で白くぼける現象）を抑えることが可能になりました。

さらに、計測器を強化することで、1 玉毎の検査データを蓄積できるようになりました。品質を分析し、生産指導に活用することによって、産地全体の品質底上げを図ります。

・稼働状況

新城市でのかきの出荷は、9 月中旬から「早秋」という品種のかきで始まりました。現地の稼働状況について伺うと、選果機の選果精度は抜群に良いとのこと。その一方で、新しい選果機のスピードにまだ慣れない作業員もいるとのこと。10 月中旬からは主要品種「次郎」の出荷作業が始まり、さらに多くのかきが選果場に運ばれてくるため、作業体制の工夫が今後の課題となりそうです。



（選果ラインで作業する様子）

国際フラワーEXPOで花業界の需要を喚起

平成27年10月14日(水)～16日(金)までの3日間、「第13回国際フラワーEXPO (IFEX)」(主催:リードエグジビションジャパン株)が幕張メッセ(千葉県千葉市)で開催されましたのでその概要を紹介します。

開催概要

国際フラワーEXPOは、日本最大級の花の展示会で、毎年ここでは世界中から花に関する様々な商材が集結し、全国から生花店、量販店、卸商、生産者などの花業界関係者や、ホテル・ブライダル関係者、百貨店、インテリアショップ、通販業者などが多数来場していることから、彼らとの商談を通じて販路の新規開拓機会の場所になっています。

またセミナーやコンテスト(プリザーブド&アーティフィシャルフラワーコンテスト、IFEXフラワー大賞)、フラワーアレンジメントショーがあり、花のトレンドを知るうえでもよい機会となっていました。

本県からは「IFEX2015出展あいち協議会」を始めとして24者が出展や出品をしており、期間中の来場者数は42,000名を超えたとのこと。

IFEX2015出展あいち協議会の概要

このブースでは、本県園芸農産課からの呼びかけに賛同した愛知県花き温室園芸組合連合会に所属する生産者8名(展示のみ5名)が自社商品の「胡蝶蘭」や「ヘデラ」、「盆栽」などを陳列していました。また鉢の代わりに苔玉を利用した商品を前面に並べ、苔玉商品作りの実演を行うなど、集客のための工夫がなされていました。初日は、山下園芸の^{やましたかずとし}山下和俊氏(常滑市)、広野園芸の^{ひろの ゆか}広野有香氏(美浜町)、(株)リーフの^{あざき みきのり}尾崎幹憲氏(豊橋市)が自社商品や展示品のPRを熱心に行っており、お客様の新規開拓につながることを期待されました。



国際フラワーEXPO会場の様子



商品説明する山下園芸の山下和俊氏

セミナーの概要

初日に『花の消費拡大のための新提言』と題して、前日に開催されたフラワーサミット2015(参加者は50才以下)の結果が各分科会モデレータ - から報告されました。これに(一社)花の国日本協議会理事長の井上英明氏(青山フラワーマーケット代表取締役)と同副理事長の宮島浩彰氏((株)日比谷花壇 代表取締役社長)がそれぞれ意見を補足し、花き業界の方向性について提言されていました。

「ウィークエンドフラワーの定着に向けて」では、花屋に足が遠のいてるお客様に対して花のある暮らしの習慣性を取り戻す方策が報告されました。ハッピーウィークエンド(幸せな週末を送る)のために花があり、「食」や「インテリア」など異業種とのコラボで花が身近に飾られている状態を創り出す取組への提案でした。現状ではウィークエンドフラワーの売場で活用できるグッズ(のぼり、缶バッジ、フォトプロップスなど)の開発作成、レシピブログでハロウィンをテーマにした料理と、それに合った花を画像で紹介するなどが行われていました。またSNSは「ウィークエンドフラワー」の浸透に欠かせないアイテムになっているとのこと。

「2020年に向けた新しいマーケット作り」では、現在オリンピック・パラリンピック開催に向け、夏に強い花の試験を都内(六本木ヒルズ、お台場等)で行っており、マラソン等の競技を花で演出する仕掛けづくりの準備が始まっていました。また「軒先を涼しくする」という意味合いから公園等公共施設などにミストを仕込んだハンギングフラワーの設置や、すべてのスポーツ競技にビクトリーブーケや花束が使われるようなムーブメントを起こしていきたいとの提案もありました。

このイベントは、お客様新規獲得の機会だけでなく花業界の現在を知る興味深いイベントとなっていました。

花のある暮らしが常態化するよう、ウィークエンドフラワーからハッピーライフが垣間見える社会づくりに、花きが大きな役割を果たすことが期待されます。



IFEXフラワー大賞の展示

フラワーサミット2015の分科会テーマ
ウィークエンドフラワーの定着に向けて
花き業界の人材育成について
2020年に向けた新しいマーケット作り
いけばなの興隆と花文化の醸成
国産花きイノベーション
花き生産やフラワーショップの海外進出から学ぶ

マーケットのハイを拡大する
消費者向けプロモーション

WEEKEND FLOWER



30~40代の団塊ジュニア層を主なターゲットに、花のホームユースの促進、習慣的にご家庭に花を飾る暮らしの“きっかけ作り”として、週末に花を楽しむライフスタイル提案「WEEKEND FLOWER (ウィークエンドフラワー)」を今秋から本格スタート!

年間52週のフラワーショップでの店頭展開に加え、花と親和性が高い「食」や「インテリア」などの異業種とのタイアップ企画を連動させることにより、花への関心が高まり、花のある暮らしが広く一般家庭に定着していくことを目指しています。

「WEEKEND FLOWER」を通じて、癒しのひとときや家族の笑顔が増え、家庭内コミュニケーションの向上や家庭におけるお子様への花育効果も期待できます。

<http://www.floweringjapan.com/weekendflower/>

(一社)花の国日本協議会の活動テーマ

秋の実りを味わう「親子料理教室」 食について楽しく学ぶ「食育の広場」

～「第32回全国都市緑化あいちフェア」で食育推進イベント開催～

愛知県では、「あいち食育いきいきプラン2015」に基づき、関係団体と連携・協力して、様々な食育の推進に取り組んでいます。

この度、「第32回全国都市緑化あいちフェア」の第3楽章「“食”～深まる秋～」の期間（10月13日～11月1日）の体験プログラムとして、食の専門家による「親子料理教室」と、愛知県食育推進ボランティアによる「食育の広場」を開催し、県民の皆さんに食について楽しく学んでいただきました。

1 期日

平成27年10月17日（土）・18日（日）の2日間

2 場所

愛・地球博記念公園（モリコロパーク）地球市民交流センター「多目的室4」

親子料理教室

時 間：午前10時から午後2時まで

内 容：愛知県産食材を使った栄養バランスに
優れた料理を親子で実習

対象者：県内在住の小学生とその保護者 計22組51名

イクメンパパも
6名参加！



野菜切りに挑戦

名古屋文化短期大学（食生活専攻長）教授で、有名料理店やホテルの総料理長も歴任された鳥居久雄氏を講師に招き、「天巻き」「煮味噌」「鬼まんじゅう」の3品を親子で実習しました。また、講師の野菜や果物の飾り切りの包丁技を見学した後、リンゴの飾り切りも体験しました。参加者からは、「愛知県の豊かな恵みや食文化を実感。」「小学生でこのような体験の機会を与えていただいたことに感謝。」「先生の『大学に来て料理の勉強しない？』との誘いに、娘が『私行く』と言っている。」等の感想や、帰宅後、親子で料理や飾り切りを復習したとの報告もいただいています。



包丁の扱い方指導



料理3品出来上がり！

食育の広場

時 間：午後2時から午後5時まで

内 容：「愛知県食育推進ボランティア」7グループによる「食」に関する紙芝居、ゲーム、クイズ、カルタ、絵本の読み聞かせ、海苔巻き実習等



紙芝居『たべものたび』

全国都市緑化あいちフェアに来場した家族連れなどに参加していただき、手作りの紙芝居、ゲーム、クイズ、カルタ、絵本等により、食品の分類とバランス、朝ごはんの必要性、よく噛むことの大切さなど「食」について、楽しく学んでいただきました。また、篠島の海苔としらすを使った「海苔巻き実習」も大好評でした。

あいち花の交流ひろばを開催しました！

本県は、花き産出額が昭和 37 年から 52 年間連続して日本一を誇る「花の王国」です。

愛知万博 10 周年を記念して、今年 9 月 12 日から 11 月 8 日まで、愛・地球博記念公園で開催された第 32 回全国都市緑化あいちフェアの会場において、あいちの花の魅力を幅広く県民の皆様にご覧いただくために、「あいち花の交流ひろば」を開催しました。

このイベントでは、日本一を支える生産者の皆さんが丹精込めた花を一堂に集めたフラワーコンテストや、花の楽しみ方などを生産者が消費者に伝える交流会などを実施しました。



1 開催期間及び場所

(1) 開催期間

平成 27 年 10 月 16 日(金)から 10 月 18 日(日)まで

(2) 場所

愛・地球博記念公園 地球市民交流センター体験学習室

2 主催

あいち花の交流ひろば推進実行委員会

(構成：愛知県、愛知県花き温室園芸組合連合会)

3 主な実施内容

(1) あいちフラワーコンテスト 合計出品数：307 点

きく、スプレーぎく、ばら・洋花、鉢花・苗物、観葉植物、洋らん・和物の 6 部門で、専門家による品評会を開催しました。

各部門の知事賞は次のとおりです。

きく：縦山幸司（田原市）

スプレーぎく：田中一宣（田原市）

ばら・洋花：友松正（稲沢市）

鉢花・苗物：平野和実（飛島村）

観葉植物：榊原守（西尾市）

洋らん・和物：尾崎幹憲（豊橋市）

(敬称略)



出品された花き

(2) 花の王国を支える技術の展示

バラのロックウール栽培技術や輪ギクの LED 照明技術を展示して紹介しました。

(3) 生産者と消費者との交流会

愛知県花き温室園芸組合連合会鉢物PR委員会による「コケ玉づくり」体験講座を実施しました。1日目は観葉植物、2日目は鉢花、3日目は洋らんを使ったコケ玉づくりを体験していただきました。参加者は3日間で約350名でした。



コケ玉づくり体験講座

(4) 来場者による人気コンテスト

生産者の皆さんが知恵を絞って作成した商品(2色植のコチョウランや染色したバラなど)に対する消費者のニーズを把握するため、来場者による人気コンテストを実施しました。

3日間で約1,700人の方に投票していただきました。最も人気を集めたのは豊川市の寺部浩章さんのコチョウランでした。



投票する皆さん

4 おわりに

引き続き、県は関係団体等と連携し花きの需要拡大に向けて、花と緑のイベントの開催や花いっぱい県民運動などを実施するとともに、中部国際空港や主要駅周辺などに、あいちの花を装飾し、国内外からの観光客等をあいちの花でおもてなしをするなど、「花の王国あいち」のPRに力を入れていきます。

愛知産青果物の動向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

名古屋中央卸売市場（品目：ぎんなん）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	うち愛知産		
26年実績	96	94 (98%)	920	908	愛知 (98%) 熊本 (1%) 長野 (1%)
27年見通し	130	-	680	-	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>愛知県産からの入荷が中心となる。天候に恵まれ、生育は良好で特に久寿は豊作傾向。台風の影響もない。 全体的に大玉傾向で昨年より玉数が多くなっている。大きさは2L中心だが、小玉も多い。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>			<p>品種は例年では久寿が7割、藤九郎が2割、その他が1割だが、本年は7割が久寿、1割が藤九郎、2割がその他となっている。 また、食べ方を一般家庭にも分かりやすくすることで、消費拡大に向けた取り組みに期待したい。</p>		

東京都中央卸売市場（品目：カリフラワー）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	うち愛知産		
26年実績	527	16 (3%)	187	210	埼玉 (38%) 新潟 (16%) 神奈川 (10%)
27年見通し	400	-	210	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>本県産の入荷は10月から始まり、2、3月にピークを迎える。 前年は生育環境が良好で、出荷が前倒ししたことから入荷量は大幅に増加した。本年は8月下旬からの天候不順で定植作業に遅れがみられたが、生育は回復傾向にある。神奈川は品目転換があり増量の見込み。 入荷量は多かった前年を大幅に下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>			<p>本県産は、量的には少ないものの、高品質で高く評価され、昔からの固定客が多い。 花蕾が出荷箱に接触しないように心がけ、日量格差の少ない安定した入荷が望まれる。 消費宣伝でレシピを紹介するなど定期的なPR活動やシーズン通した中で8玉中心の安定した出荷量をお願いしたい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の11月の見通し

名古屋市中央卸売市場

10月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜	22年	35,346	173	178	165	177	北海道 32%
	23年	34,086	227	227	241	211	愛知 19%
	24年	35,272	171	176	165	171	茨城 14%
	25年	34,141	182	178	181	176	長野 7%
	26年	32,804	233	223	230	242	
	5ヵ年平均	34,330	197	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	31,300	286	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、北海道からの入荷が中心となる。茨城の大雨による冠水や台風による長雨、また高齢化による作付面積の減少により、減少傾向にある模様。しかし天候次第ではそれなりの回復も見込まれる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							
だい	22年	2,025	110	122	121	86	愛知 53%
	23年	2,651	64	80	60	56	千葉 32%
	24年	2,245	67	73	66	63	青森 3%
	25年	2,387	95	97	99	94	神奈川 3%
	26年	2,075	61	63	64	64	北海道 2%
	5ヵ年平均	2,277	79	87	81	72	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,000	90	90	90	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、千葉が中心となる。青森は残量から。愛知、千葉ともに10月下旬頃から出てくる模様。しかし播種が遅れた分出荷も遅れ、数量が出ない見込み。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							
に	22年	2,111	142	132	180	125	北海道 64%
	23年	2,080	107	122	117	95	愛知 20%
	24年	1,907	97	95	106	100	岐阜 7%
	25年	2,101	156	147	196	208	青森 7%
	26年	1,907	90	79	91	108	千葉 1%
	5ヵ年平均	2,021	119	116	140	128	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,800	140	130	140	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は北海道が中心となる。北海道は小物も含めて前年並となる見込み。全体的には作付面積が減少しているため、入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。							

東京都中央卸売市場

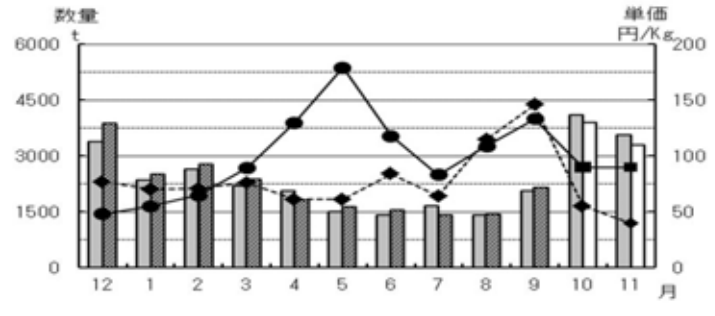
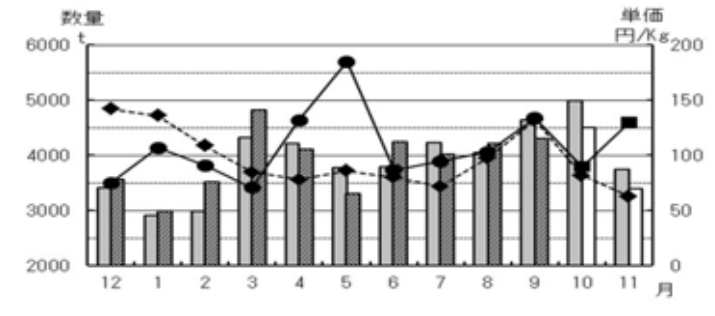
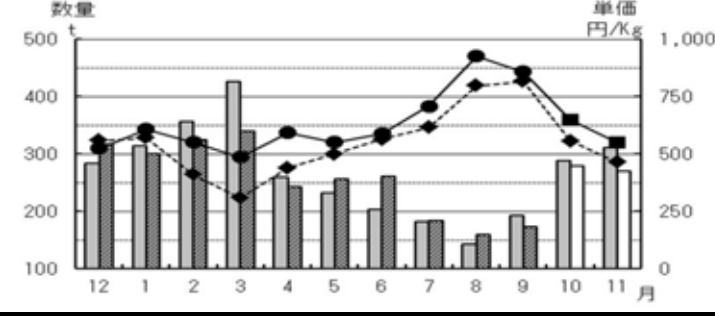
10月27日 現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	22年	121,395	252	265	261	231	茨城 20%
	23年	127,371	183	193	173	184	千葉 20%
	24年	129,972	199	198	198	200	北海道 18%
	25年	125,287	250	245	247	256	埼玉 4%
	26年	126,336	196	189	191	211	愛知 4%
	5ヵ年平均	126,072	216	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	125,500	215	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>関東産地からの入荷が中心で、土物類は前月に続き北海道からの入荷となり、果菜類は西南暖地からの入荷が増えてくる。大型野菜は8月下旬からの曇雨天で定植作業が遅れるなど出荷がずれ込む模様。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>							
だいこん	22年	11,872	110	137	120	79	千葉 67%
	23年	12,415	58	71	56	47	神奈川 14%
	24年	12,878	60	66	56	57	茨城 8%
	25年	12,654	90	89	94	87	青森 7%
	26年	13,180	52	51	50	55	
	5ヵ年平均	12,600	73	82	74	65	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	12,700	64	65	65	62	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉、神奈川、茨城、青森からの入荷が中心となる。千葉、神奈川は8月下旬からの曇雨天の影響で播種作業が遅れたが生育は概ね良好。下旬から順調出荷の見込み。青森は終盤を迎える。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>							
にんじん	22年	6,989	127	122	118	139	千葉 46%
	23年	7,713	99	87	95	114	北海道 37%
	24年	7,763	124	112	119	137	青森 7%
	25年	6,843	162	138	165	182	埼玉 3%
	26年	7,883	85	78	89	89	
	5ヵ年平均	7,438	118	106	116	131	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	7,700	110	100	110	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>千葉、北海道、青森からの入荷が中心となり、関東産地からの入荷が増えてくる。千葉は8月下旬からの曇雨天の影響で生育遅れ気味。北海道は生育は概ね良好で前年並の出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>							

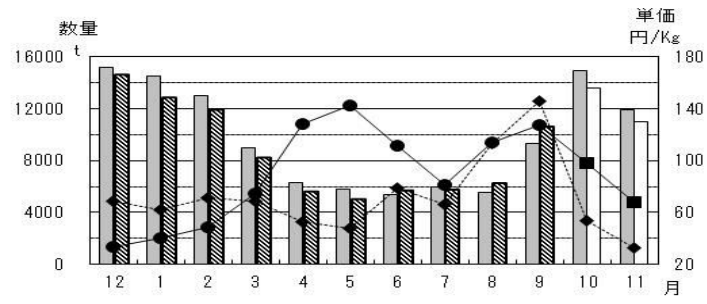
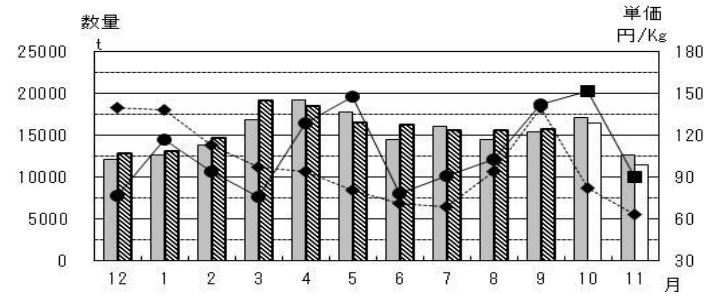
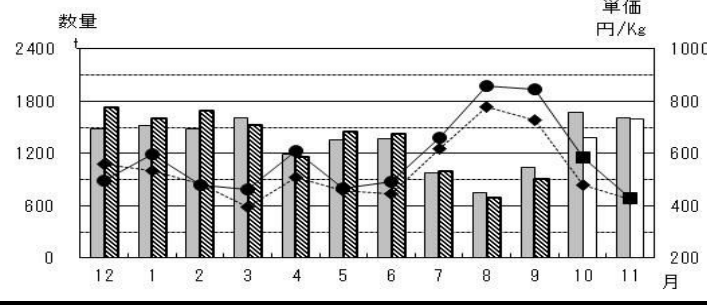
名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	22年	3,873	89	102	89	茨城 38%	
	23年	3,906	47	53	42	長野 33%	
	24年	3,600	53	62	51	愛知 26%	
	25年	3,466	88	91	101	岐阜 3%	
	26年	3,658	40	38	43		
	5ヵ年平均	3,701	63	69	65	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
27年見通し	3,300	90	90	90			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は茨城、愛知、長野が中心となる。 茨城は大雨による冠水のため、本格的に出てくるのは11月中旬頃になる見込み。愛知は高齢化により作付面積は減少する。長野は昨年並となる模様。定植の時期に長雨にあたったため出荷に不安がある。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
		 <p>ほうきの数量と単価の月別推移。数量は12月約3000t、1月約2500t、2月約2800t、3月約3000t、4月約2500t、5月約2000t、6月約1500t、7月約1500t、8月約1500t、9月約2000t、10月約3500t、11月約3000t。単価は12月約70円/kg、1月約80円/kg、2月約90円/kg、3月約110円/kg、4月約140円/kg、5月約170円/kg、6月約100円/kg、7月約80円/kg、8月約100円/kg、9月約130円/kg、10月約150円/kg、11月約100円/kg。</p>					
キャベツ	22年	2,976	155	168	126	愛知 58%	
	23年	4,113	63	78	57	茨城 28%	
	24年	4,055	46	48	45	北海道 4%	
	25年	3,882	115	108	113	長野 4%	
	26年	3,749	63	55	61	秋田 2%	
	5ヵ年平均	3,755	85	87	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
27年見通し	3,400	130	140	120			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、茨城が中心となる。 茨城は洪水の影響で入荷量が少なめ。また、ここへきて高値疲れの可能性もある。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
		 <p>キャベツの数量と単価の月別推移。数量は12月約3500t、1月約3000t、2月約3000t、3月約4500t、4月約4000t、5月約3500t、6月約4000t、7月約4000t、8月約4000t、9月約4500t、10月約5000t、11月約3500t。単価は12月約80円/kg、1月約100円/kg、2月約100円/kg、3月約100円/kg、4月約120円/kg、5月約150円/kg、6月約100円/kg、7月約100円/kg、8月約100円/kg、9月約120円/kg、10月約150円/kg、11月約100円/kg。</p>					
ほうれんそう	22年	376	495	479	526	477	愛知 57%
	23年	483	269	345	231	282	岐阜 25%
	24年	273	526	505	510	585	群馬 6%
	25年	199	770	791	767	775	茨城 4%
	26年	311	465	453	452	520	長野 2%
	5ヵ年平均	329	461	477	452	482	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	270	550	550	550	550		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、岐阜が中心となる。 岐阜は10月上旬から中旬頃に高原物が終了する。愛知は播種が遅れたため出荷が止まっていたが、10月下旬にはまた出荷が始まると予想される。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
		 <p>ほうれんそうの数量と単価の月別推移。数量は12月約280t、1月約300t、2月約350t、3月約420t、4月約250t、5月約250t、6月約250t、7月約180t、8月約150t、9月約180t、10月約280t、11月約250t。単価は12月約500円/kg、1月約550円/kg、2月約550円/kg、3月約550円/kg、4月約550円/kg、5月約550円/kg、6月約550円/kg、7月約550円/kg、8月約550円/kg、9月約550円/kg、10月約550円/kg、11月約550円/kg。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格	前年主要産地(%)			
				上旬	中旬	下旬	
ほうきさい	22年	13,421	83	97	84	69	茨城 83% 長野 14% 群馬 1%
	23年	12,727	35	42	32	31	
	24年	13,079	42	50	39	37	
	25年	13,853	75	79	84	63	
	26年	11,922	33	33	34	33	
	5ヵ年平均	13,000	54	61	56	47	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	11,000	68	70	70	65	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、長野からの入荷が中心となる。茨城は8月下旬からの曇雨天の影響で定植、生育が遅れ気味。小玉の出荷割合が高くなる見込み。長野は出荷終盤を迎える。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
キャベツ	22年	11,324	154	162	170	128	千葉 42% 愛知 23% 茨城 18% 群馬 6% 愛知 23%
	23年	13,459	61	73	55	56	
	24年	14,000	49	47	47	52	
	25年	13,300	113	96	112	132	
	26年	12,682	63	53	59	79	
	5ヵ年平均	12,953	86	84	86	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	11,500	90	95	90	85	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、愛知、茨城からの入荷が中心となる。各産地とも8月下旬からの天候不順の影響で定植作業が遅れるなど生育は遅れている。出荷始めはやや小玉傾向の見込み。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
ほうれんそう	22年	1,649	496	503	542	441	群馬 42% 茨城 16% 千葉 12% 栃木 10%
	23年	1,938	253	324	198	239	
	24年	1,604	461	451	426	517	
	25年	1,255	651	640	648	662	
	26年	1,610	426	413	382	499	
	5ヵ年平均	1,611	441	453	421	454	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,600	430	420	410	460	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。各産地とも9月の天候不順の影響で徒長気味だったが、その後は日中の好天に恵まれ生育は回復傾向で概ね良好である。</p> <p>入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	22年	1,282	394	470	375	370	北海道 23%
	23年	1,380	239	233	239	257	長野 14%
	24年	1,311	323	333	327	320	富山 12%
	25年	1,194	368	356	359	389	愛知 9%
	26年	1,213	288	271	280	330	新潟 8%
ぎ	5ヵ年平均	1,276	321	331	315	331	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,200	320	340	320	300	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は長ねぎが愛知、白ねぎが北海道、長野、富山が中心となる。 長ねぎは出荷量が少なめとなる。 白ねぎは、北海道は中旬に終了する。鳥取や長野は順調な入荷となる模様。 入荷量は前年並であり、価格は前年をかなり上回る見込み。					
し	22年	1,496	212	214	219	202	兵庫 43%
	23年	1,631	141	157	111	166	茨城 42%
	24年	1,362	226	207	203	280	愛知 7%
	25年	1,498	311	288	284	370	長野 2%
	26年	1,871	150	130	132	202	群馬 2%
す	5ヵ年平均	1,572	204	195	185	240	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,500	220	250	230	200	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は兵庫、茨城が中心となる。 兵庫は日照不足のため遅れ気味で11月中旬がピークとなる見込み。茨城も大雨の影響で遅れ気味で10月下旬がピークとなる。9月下旬の天候の影響でLサイズ、Mサイズが中心となる。 入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。					
き	22年	1,100	390	577	325	305	愛知 30%
	23年	1,014	374	378	354	388	宮崎 22%
	24年	978	346	375	348	324	群馬 18%
	25年	897	458	616	423	392	高知 12%
	26年	853	385	359	386	410	山梨 7%
り	5ヵ年平均	968	389	463	365	361	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	900	370	370	370	370	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は西南暖地、宮崎、愛知が中心となる。 長雨等の影響で根の張りが良くなく、着果も良くない。11月になれば愛知も含めて出てくる見込みだが、定植以降も天候が良くないため出荷量はそこまで多くない模様。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	22年	5,413	337	436	289	295	青森 18%
	23年	5,991	171	162	156	194	秋田 13%
	24年	5,815	270	277	282	252	茨城 12%
	25年	6,274	268	255	274	277	群馬 9%
	26年	5,672	211	194	208	230	
	5ヵ年平均	5,833	250	262	241	249	
ぎ	27年見通し	5,600	230	220	230	240	前年及び本年の入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>青森、秋田はピークを過ぎ、茨城など関東産地からの入荷が本格化してくる。青森は生育回復傾向で太物率が良化。関東産地は台風の影響で倒伏や冠水がみられたが回復傾向で生育は概ね良好。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
し た ス	22年	6,558	203	187	224	197	茨城 66%
	23年	7,594	126	134	95	151	兵庫 9%
	24年	6,335	205	176	185	266	香川 5%
	25年	6,970	285	255	249	349	栃木 5%
	26年	7,384	135	111	118	185	愛知 1%
	5ヵ年平均	6,968	189	171	171	227	
ス	27年見通し	7,200	183	185	185	180	前年及び本年の入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城、兵庫、香川、栃木からの入荷が中心となる。茨城は降雨の影響で作業が遅れ上旬頃出荷ピークを迎える。兵庫、香川も同様に作業遅れから中旬頃に増量の見込み。</p> <p>入荷量は多かった前年をわずかに下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。</p>					
き ゆ う り	22年	4,717	385	533	338	316	埼玉 24%
	23年	4,798	359	344	332	397	宮崎 19%
	24年	4,792	349	361	336	347	群馬 18%
	25年	4,551	462	572	438	398	千葉 10%
	26年	4,547	394	344	414	431	
	5ヵ年平均	4,681	389	430	371	377	
り	27年見通し	4,500	393	350	410	420	前年及び本年の入荷量・価格の動き
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>埼玉、宮崎、群馬、千葉からの入荷が中心となる。埼玉、群馬は8月下旬からの天候不順の影響で樹勢は弱めで推移。宮崎の生育は概ね良好で上旬から増量の見込み。千葉は生育良好。</p> <p>入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な	22年	516	343	322	367	332	熊本 51%
	23年	588	281	262	287	310	愛知 39%
	24年	471	362	339	379	384	高知 5%
	25年	416	460	454	458	450	山梨 3%
	26年	441	405	384	408	431	福岡 1%
	5ヵ年平均	486	363	345	373	375	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	420	410	400	400	420		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は愛知、熊本が中心となる。 秋冬作型のハウス物に切り替わる。天候にもよるが順調な生育の見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並の見込み。					
マ	22年	776	451	456	524	380	熊本 42%
	23年	783	398	444	367	412	愛知 23%
	24年	823	518	570	576	427	岐阜 11%
	25年	834	465	422	465	521	三重 11%
	26年	1,116	322	332	313	321	茨城 7%
	5ヵ年平均	866	424	437	440	407	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	1,100	350	400	350	300		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は熊本、愛知、三重、岐阜が中心となる。 夏秋抑制栽培から促成栽培に入る。熊本を中心に4県とも出そろうため、前年並に出てくる見込み。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。					
ミ	22年	213	806	900	895	663	愛知 47%
	23年	282	673	712	648	639	熊本 43%
	24年	282	959	1,154	904	805	北海道 4%
	25年	324	756	727	748	774	和歌山 4%
	26年	355	658	702	628	613	茨城 1%
	5ヵ年平均	291	763	826	751	698	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	340	700	700	700	700		
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は熊本、愛知が中心となる。北海道はほぼ終了するため残量が少し。 量販店では夏秋物から冬春物に切り替わる。10月の高値と比べると11月は落ち着いてくる模様。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。					

東京都中央卸売市場

「なす」の数値には「べいなす」を含まない。

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	22年	2,397	372	322	405	391	高知 53%
	23年	2,606	340	310	318	410	福岡 14%
	24年	2,378	370	316	372	441	栃木 11%
	25年	2,147	470	478	450	486	群馬 6%
	26年	2,300	379	318	360	493	
	5ヵ年平均	2,366	384	346	379	442	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,350	380	350	380	410	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>高知、福岡、栃木、群馬からの入荷が中心となる。高知は9月中旬までは天候不順だったがその後好天に恵まれ生育は回復傾向。福岡は生育は概ね良好で本格出荷となる。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並の見込み。</p>					
ト マ ト	22年	4,631	468	470	535	398	熊本 30%
	23年	5,088	411	435	375	426	千葉 21%
	24年	4,774	554	591	613	462	愛知 13%
	25年	4,602	480	424	475	545	茨城 11%
	26年	5,649	343	335	333	364	
	5ヵ年平均	4,949	447	447	460	436	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	5,500	390	410	390	370	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、千葉、愛知、茨城からの入荷が中心となる。熊本と愛知からの入荷が本格化する。熊本は台風の影響なく生育良好で順調出荷が期待できる。千葉は生育回復傾向にある。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
ミ ニ ト マ ト	22年	950	801	905	903	627	熊本 22%
	23年	1,260	640	671	611	634	愛知 22%
	24年	1,281	915	1,136	834	780	茨城 17%
	25年	1,519	681	677	670	695	千葉 12%
	26年	1,686	572	608	544	563	
	5ヵ年平均	1,339	708	779	692	657	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,700	700	750	700	650	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知、千葉、茨城からの入荷が中心となる。熊本は台風の影響なく生育良好で順調出荷が期待できる。愛知は裂果が散見されるものの生育は概ね良好。</p> <p>入荷量は多かった前年並で、価格は安かった前年を大幅に上回るが平年並の見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	22年	479	393	380	418	382	宮崎 40%
	23年	447	306	295	333	354	鹿児島 38%
	24年	509	236	279	271	242	高知 12%
	25年	459	470	515	486	433	茨城 8%
	26年	488	302	366	320	304	岩手 2%
マン	5カ年平均	476	339	366	364	341	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	480	330	320	330	340	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は鹿児島、宮崎、高知といった西南暖地が中心となる。 鹿児島の一部地域以外は、全体的に減少傾向にある。残量については単価が他の品目によって左右される模様。 入荷量は前年並で、価格はかなり上回る見込み。					
ばいしょ	22年	2,812	138	137	152	127	北海道 91%
	23年	2,423	101	97	106	99	長崎 9%
	24年	2,484	82	81	80	86	
	25年	2,649	100	99	107	98	
	26年	2,706	88	90	92	85	
いしょ	5カ年平均	2,615	102	102	108	99	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,700	95	95	95	95	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は北海道が中心となる。他、長崎から。 北海道はLサイズが中心で、生育もまずまずといった状況である。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。					
たまねぎ	22年	5,161	115	100	124	123	北海道 99%
	23年	5,127	82	90	85	87	兵庫 1%
	24年	5,256	66	68	67	67	
	25年	4,774	109	109	116	121	
	26年	5,908	77	81	80	78	
ねぎ	5カ年平均	5,245	89	89	94	94	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	6,000	67	70	70	70	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は北海道が中心となる。 出荷はピークから中旬下旬で下火になる見込み。品質はL物中心の大玉傾向。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	22年	1,653	388	374	418	366	茨城 52%
	23年	1,683	268	228	259	326	宮崎 20%
	24年	1,919	213	216	202	210	高知 13%
	25年	1,751	471	544	472	417	鹿児島 10%
	26年	1,798	304	334	291	289	
マン	5カ年平均	1,761	326	337	325	319	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,800	330	330	330		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>茨城を中心に宮崎など西南暖地からの入荷が増加する。茨城は8月下旬からの天候不順で着果不良もその後の好天で回復傾向。宮崎、高知は生育は概ね良好で前年並の出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回るが平年並の見込み。</p>							
ばれいしょ	22年	7,094	155	154	157	155	北海道 98%
	23年	6,997	111	115	111	108	長崎 2%
	24年	8,232	87	86	87	88	
	25年	8,433	106	104	106	107	
	26年	7,633	91	91	91	90	
いしょ	5カ年平均	7,678	109	109	109	109	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	8,000	88	90	88	86	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。北海道は干ばつの影響から大玉の発生率が低い地域がみられるが全体として生育は概ね良好。倉入れ前の追い込み出荷もあり順調入荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>							
たまねぎ	22年	10,096	139	135	137	145	北海道 95%
	23年	9,530	91	92	91	90	中国 4%
	24年	10,967	70	71	70	70	
	25年	10,113	117	112	119	120	
	26年	10,767	82	81	81	84	
ねぎ	5カ年平均	10,295	99	98	99	101	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	11,400	70	73	70	67	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道からの入荷がほとんどを占める。北海道は干ばつの影響を受けた地域では小玉傾向だが、全体としては生育良好で大玉傾向のため前年以上の出荷が期待できる。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	22年	14,213	209	206	213	静岡	15%
	23年	12,148	271	269	290	フィリピン	13%
	24年	12,304	251	244	243	長野	12%
	25年	12,156	238	244	253	岐阜	11%
	26年	11,404	283	290	286		
	5ヵ年平均	12,445	249	-	-		
	27年見通し	12,100	240	-	-		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>国内の産地は、静岡、長野中心。 みかん、りんご、かき中心に入荷する。一部で大雨の影響があるものの、全体的には順調な傾向で入荷量も多い。そのため、価格も落ち着く。また、いちごも早いものは出てくる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
みか	22年	4,900	159	155	145	静岡	38%
	23年	4,365	243	253	251	和歌山	19%
	24年	5,005	178	197	166	愛知	14%
	25年	4,215	206	213	202	三重	14%
	26年	4,342	228	241	221	北海道	2%
	5ヵ年平均	4,565	201	-	-		
	27年見通し	4,300	210	210	210		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は、静岡中心で、愛知、和歌山が続く。 天候次第ではあるが、サイズはLサイズ中心の大玉傾向。日照が確保出来れば、食味も良くなる。 入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
かき	22年	3,157	171	175	173	岐阜	61%
	23年	1,821	328	326	368	和歌山	15%
	24年	2,329	278	285	292	三重	11%
	25年	2,972	188	200	197		
	26年	2,110	285	274	292		
	5ヵ年平均	2,478	238	-	-		
	27年見通し	2,700	220	220	230		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岐阜中心で、和歌山、三重からも入る。 生育は順調で、品質も良い。入荷量もある程度確保出来るため、価格は昨年より安くなると思われる。 入荷量は前年を大幅に上回り、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>					

注：平成27年の4月、5月は入荷無しにつき単価は0円/kgで表記

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実	22年	46,796	274	263	271	289	愛媛 16%
	23年	45,566	265	257	263	273	熊本 9%
	24年	49,482	249	237	249	262	山形 8%
	25年	45,920	291	282	290	299	和歌山 8%
	26年	45,734	268	259	267	278	愛知 2%
	5カ年平均	46,700	269	-	-	-	前年及び本年の入荷量・価格の動き
27年見通し	46,500	280	-	-	-		
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>みかん、りんご、かき等が入荷する。前進傾向の品目が多いが、全般的に品質は高いことから順調な販売が期待される。りんごは「ふじ」が中心でギフト需要等で上位等級の引き合いが強い。入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					
みかん	22年	20,154	243	222	248	251	愛媛 31%
	23年	20,912	209	213	218	199	熊本 18%
	24年	21,170	231	220	236	235	長崎 16%
	25年	21,812	244	233	251	243	和歌山 12%
	26年	20,513	201	193	209	200	
	5カ年平均	20,912	232	222	238	232	前年及び本年の入荷量・価格の動き
27年見通し	20,900	230	220	230	230		
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛媛、熊本、長崎中心に入荷。極早生から早生に切り替わる。各産地とも厳選出荷に取り組んでおり糖度も高く食味もよい。長崎は裏年あたり出荷量は1割程度の減となる見込み。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
かき	22年	6,491	327	310	327	356	奈良 17%
	23年	6,577	261	242	266	289	新潟 16%
	24年	9,326	181	183	179	181	福岡 12%
	25年	7,052	275	279	276	269	愛知 11%
	26年	7,278	213	209	209	229	
	5カ年平均	7,345	246	240	245	258	前年及び本年の入荷量・価格の動き
27年見通し	7,000	220	210	220	230		
産地状況と入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>「平核無」は新潟、奈良、「富有」は福岡、奈良中心に入荷する。全般的に作柄がよく入荷は潤沢。「富有」は生育順調で玉肥大も良好。「平核無」は1週間程度の前進入荷となる見込み。入荷量は豊作であった前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>					

注：平成27年の4月は入荷無しにつき単価は0円/kgで表記

切花・鉢花の11月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 10月28日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ く	実績	22年	1,498	56	
		23年	1,844	47	
		24年	1,819	44	
		25年	1,713	58	
		26年	1,660	44	
		5ヶ年平均	1,707	50	
	27年見通し	1,700	50		
概要	愛知、三重、沖縄から入荷。品種は順次冬春物に切り替わる。例年より低温傾向にあり、出荷は落ち着いた感がある。沖縄からの入荷は順調に増加してくると思われるが、SPマムに移行もあり、平年並からやや少なめか。				
小 ぎ く	実績	22年	607	26	
		23年	1,000	21	
		24年	731	26	
		25年	788	37	
		26年	808	34	
		5ヶ年平均	787	29	
	27年見通し	850	32		
概要	愛知、奈良、沖縄中心に入荷。昨年は台風被害により沖縄産は少なかったが、今年は大きな被害もなく、平年並の入荷が予定される。上旬の入荷は少なく、堅調な動きとなり、中旬以降は落ち着いた展開と思われる。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	22年	892	39	
		23年	1,169	27	
		24年	871	42	
		25年	1,173	39	
		26年	1,024	37	
		5ヶ年平均	1,026	36	
	27年見通し	1,100	38		
概要	長野、愛知、北海道から入荷。高冷地は9月から夜温が例年よりも低いため、ガラガラ出荷となり、10月に入り、愛知県産が増えたが、需要が強く安定していた。愛知県産は若干遅れはあったものの出荷は順調で、他の品目に引っ張られ、相場はある程度安定するとと思われる。				
か す み そ う	実績	22年	87	114	
		23年	141	73	
		24年	120	111	
		25年	148	85	
		26年	157	75	
		5ヶ年平均	131	89	
	27年見通し	150	80		
概要	高知、和歌山、熊本、長野から入荷。高冷地出荷は減り、暖地産は上旬から一気に増えてくる。需要が少ない時期で価格は10月から下降となるが、品質は良い。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	22年	258	214	
		23年	408	159	
		24年	122	122	
		25年	335	172	
		26年	292	158	
	5ヶ年平均		283	169	
	27年見通し		290	165	
概要	<p>オリエンタルは高知、新潟、埼玉、静岡、県内から入荷。前半はやや少ない入荷で、中旬以降増加。価格は彼岸以降やや安かったが持ち直す。LA、鉄砲は高知、埼玉を中心にやや少なく、年末出荷狙いで例年どうりの入荷。価格は中値安定からやや強め。</p>				
洋らん	実績	22年	447	74	
		23年	529	68	
		24年	518	77	
		25年	488	96	
		26年	490	75	
	5ヶ年平均		494	78	
	27年見通し		500	75	
概要	<p>愛知、鹿児島、高知、徳島、輸入等から入荷。カトリアは10月前半まで少なかった分一気に出てくると思われ、厳しい月となりそう。コショウランは昨年少なく高値で推移したが、今年は安定した入荷が見込まれる。</p>				
ばら	実績	22年	844	77	
		23年	985	78	
		24年	997	85	
		25年	940	90	
		26年	838	85	
	5ヶ年平均		921	83	
	27年見通し		850	85	
概要	<p>愛知、三重、和歌山、岐阜を主に入荷。文化の日、勤労感謝の日と毎年ながらの連休でブライダル等の需要が見込まれる。輸入物が少ないため、品薄感があり、相場も堅調に推移すると思われる。</p>				
枝も	実績	22年	1,495	41	
		23年	880	54	
		24年	1,786	43	
		25年	1,702	47	
		26年	1,550	44	
	5ヶ年平均		1,483	45	
	27年見通し		1,600	45	
概要	<p>静岡、長野、岐阜の産地中心に入荷。稽古需要は少ないが、季節も変わりクリスマス商材は堅調な動きを見せる。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ドラセナ類	実績	22年	14,576	576	
		23年	15,362	773	
		24年	16,465	789	
		25年	12,952	856	
		26年	11,524	782	
	5ヶ年平均		14,176	753	
	27年見通し		11,000	773	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。特に大鉢は少なく、中鉢主体の入荷の見込み。小鉢ものは昨年並の入荷見込みとなり、全体的に相場は厳しい予想。 昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(64.5%)、2位鹿児島県(17.3%)、3位三重県(7.7%)となっている。</p>				
シャコバサボテン	実績	22年	63,101	418	
		23年	54,817	460	
		24年	49,694	415	
		25年	38,706	424	
		26年	36,572	404	
	5ヶ年平均		48,578	426	
	27年見通し		36,000	361	
概要	<p>入荷量は昨年並か。年々11月の注文が減少傾向にあり、競売価格も厳しいため、単価面では更に下降傾向と予想。 昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(83.5%)、2位埼玉県(10.9%)、3位茨城県(3.3%)となっている。</p>				
シクラメン	実績	22年	928,898	294	
		23年	717,401	272	
		24年	814,870	280	
		25年	866,458	276	
		26年	850,000	271	
	5ヶ年平均		835,525	279	
	27年見通し		800,000	275	
概要	<p>天候不順による生育不良と出荷遅れの為、入荷量はやや減少か。入荷は下旬がピークと予想。需要期が下旬にずれ込んでいる為、単価面では中・下旬が安定の見込み。 昨年11月の主要県の入荷実績(金額ベース)は、1位愛知県(35.8%)、2位長野県(25.8%)、3位栃木県(5.1%)となっている。</p>				

単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
シンビジュウム	実績	22年	53,025	2,548	
		23年	51,124	2,387	
		24年	57,593	2,447	
		25年	66,499	2,353	
		26年	61,199	2,198	
		5ヶ年平均	57,888	2,380	
	27年見通し	61,000	2,197		
概要	<p>入荷量は昨年並か。上旬頃は早生品種が始め、中旬から下旬にかけては切れ間になる見込み。春先の温度の吹き込み不足と夏場の気温の影響が出ている。中旬以降は満開商品が多い為、注意が必要となる。</p> <p>昨年11月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知県（54.3%）、2位徳島県（10.7%）、3位高知県（10.6%）となっている。</p>				
カラッコエ	実績	22年	45,425	203	
		23年	35,110	194	
		24年	38,350	179	
		25年	32,012	173	
		26年	33,754	174	
		5ヶ年平均	36,930	186	
	27年見通し	33,000	173		
概要	<p>入荷量は昨年並か。商品の花の咲き状況により単価面に差が出ると予想される。</p> <p>昨年11月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位岐阜県（53.5%）、2位埼玉県（33.7%）、3位茨城県（5.0%）となっている。</p>				
パンジ	実績	22年	1,038,827	53	
		23年	1,071,742	35	
		24年	1,085,130	49	
		25年	939,240	49	
		26年	900,000	49	
		5ヶ年平均	1,006,988	47	
	27年見通し	990,000	42		
概要	<p>入荷量は昨年より増加か。品質は例年通り。今年は10月上旬頃の出荷が少なくなる予想だが、下旬からは各産地の出荷が増えてくる見込みである。</p> <p>昨年11月の主要県の入荷実績（金額ベース）は、1位愛知県（39.0%）、2位奈良県（17.2%）、3位三重県（12.6%）となっている。</p>				

主要農林水産物の輸出入実績(2015年)

1 輸入実績

品名	8月						8月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	50,327	96.0	7,299,775	119.6	145	124.6	553,385	92	64,014,895	103	116	114
トマト	598	101.0	231,318	106.0	387	104.9	4,244	91	1,617,123	89	381	98
たまねぎ	23,045	88.1	1,378,157	117.1	60	132.9	221,114	89	11,727,649	97	53	108
にんにく	2,024	106.8	498,699	149.2	246	139.7	13,777	109	3,051,723	146	222	135
ねぎ	4,338	97.1	623,935	139.8	144	144.0	37,213	99	4,663,302	119	125	119
ブロッコリー	1,659	68.2	461,898	99.0	278	145.2	13,988	59	3,592,927	76	257	128
結球キャベツ	1,870	212.7	100,763	330.0	54	155.1	17,149	62	791,011	70	46	113
にんじん・かぶ	5,694	101.2	385,443	172.1	68	170.1	48,404	95	2,561,150	97	53	100
ごぼう	3,820	100.2	214,030	103.5	56	103.4	26,055	100	1,545,959	100	59	71
えんどう	45	172.5	22,104	231.9	493	134.4	599	111	252,788	137	422	124
アスパラガス	94	69.7	79,422	83.2	844	119.3	4,909	63	3,832,799	87	781	138
まつたけ	179	65.4	1,084,543	106.9	6,049	163.4	211	64	1,313,694	100	6,213	119
しいたけ	88	123.9	40,820	133.2	464	107.5	1,352	86	532,900	88	394	103
かぼちゃ	815	198.8	95,682	205.2	117	103.2	86,947	107	8,029,229	115	92	115
果実(生鮮・乾燥)	136,624	100.7	27,182,045	122.6	199	121.7	1,168,690	99	231,188,755	116	198	118
バナナ	76,557	101.3	8,842,277	123.7	115	122.1	639,837	100	67,351,672	117	105	118
パイナップル	10,746	87.8	963,213	103.5	90	117.9	104,765	91	8,890,040	105	85	116
レモン	4,866	92.6	844,503	107.1	174	115.7	36,075	110	8,418,284	130	233	119
オレンジ	7,510	83.5	996,945	89.5	133	107.1	64,842	98	10,195,108	106	157	106
グレープフルーツ	10,120	115.2	1,332,491	195.5	132	169.8	82,348	88	9,954,449	101	121	113
メロン	1,350	72.0	179,079	85.2	133	118.4	18,330	81	2,075,812	89	113	104
ぶどう	3,126	104.1	1,181,193	125.0	378	120.1	37,043	111	12,022,091	128	325	126
キウイ	9,194	155.5	3,129,645	178.0	340	114.5	63,238	125	22,245,084	124	352	97
いちご	542	91.7	627,287	107.8	1,157	117.5	1,407	94	1,598,302	108	1,136	116
切花(生鮮・乾燥)	4,571	103.2	4,243,185	113.4	928	109.9	25,883	96	24,607,683	107	951	109
鳥獣肉類	155,882	88.5	81,127,152	89.6	520	101.2	1,260,172	99	681,901,324	107	541	109
牛肉(くず肉含む)	35,852	61.6	24,339,097	76.8	679	124.8	325,678	95	227,689,750	122	699	128
豚肉(くず肉含む)	64,546	93.6	34,436,522	89.3	534	95.4	517,223	93	279,884,383	92	541	99
鶏肉	47,135	123.2	14,136,167	124.2	300	100.8	341,609	114	104,695,532	123	306	109
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	128,057	99.1	93,009,040	102.4	726	103.3	1,084,322	102	739,534,596	104	682	103
まぐろ類	16,576	90.8	13,037,677	86.6	787	95.4	129,949	97	128,647,818	107	990	108
さば・さんま・あじ・いわし	3,159	93.2	824,350	101.0	261	108.3	52,228	113	11,735,107	110	225	98

2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	941	68.3	841,804	75.7	895	110.9	16,514	157	8,118,546	153	492	107
うんしゅうみかん	9	57.2	11,471	61.0	1,336	106.7	287	100	172,755	91	602	95
りんご	206	182.3	113,309	161.5	550	88.6	14,192	173	5,468,745	176	385	102
なし	165	28.2	90,093	27.5	548	97.7	227	38	122,954	37	542	98
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	372,028	108.2	-	-	-	-	2,647,299	111	-	-
緑茶	417	146.3	1,094,534	170.3	2,625	116.4	2,505	118	6,259,603	129	2,499	109

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

速報値によるデータのため、累計値に誤差がある場合があります。

関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100) (愛知県 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	25年平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	26年平均	102.8	99.3	105.8	106.8	112.3
	27年 5月	104.0	114.8	127.6	111.8	114.9
	6月	103.8	107.4	115.4	112.2	114.5
	7月	103.7	107.4	108.2	112.1	115.1
	8月	103.9	110.0	114.8	112.1	118.6
愛 知 県	25年平均	100.3	100.3	105.6	99.9	105.6
	26年平均	103.1	100.8	112.1	108.9	110.8
	27年 5月	104.1	117.9	134.8	113.4	113.7
	6月	103.8	110.8	113.5	115.1	114.6
	7月	103.6	112.6	111.4	114.3	113.1
	8月	103.9	115.8	119.4	114.8	119.4

項目 年月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
25年平均	25年平均	102.8	112.8	98.7	94.7	107.7
	26年平均	102.2	98.8	97.8	93.3	118.4
	27年 5月	111.6	83.1	118.9	128.1	124.2
	6月	103.4	83.2	104.3	108.5	125.2
	7月	106.8	83.1	102.9	117.2	129.8
	8月	105.3	83.6	101.6	110.8	129.0

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」
愛知県・愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシカ」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
25年平均	2,112	147	178	629	457	297	160	388	231	569	695	162	567
26年平均	2,109	170	190	661	481	321	162	376	276	581	695	162	545
27年 5月	1,818	353	368	722	461	442	197	363	254	510	697	163	630
6月	1,855	177	303	837	407	438	166	430	297	489	626	168	684
7月	1,864	172	239	857	410	493	200	393	328	578	655	173	792
8月	1,855	181	259	811	559	438	205	439	344	565	614	185	-
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(バラ)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg			100g	1 kg		100g	1 本			100g		
25年平均	581	285	355	179	214	792	530	159	171	310	231	794	428
26年平均	584	336	437	174	240	824	530	166	175	336	228	825	440
27年 5月	-	428	473	178	261	898	526	196	180	350	216	882	423
6月	-	384	485	-	259	901	523	171	172	335	226	908	467
7月	-	344	474	-	279	838	527	180	165	334	223	907	449
8月	-	321	471	-	293	917	532	185	199	336	231	951	436

豚肉は26年12月までロースの価格を示す。

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



いいともあいち運動って知ってる??

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (**イート モア アイチ** プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 509
平成27年11月発行
農林水産部食育推進課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6421